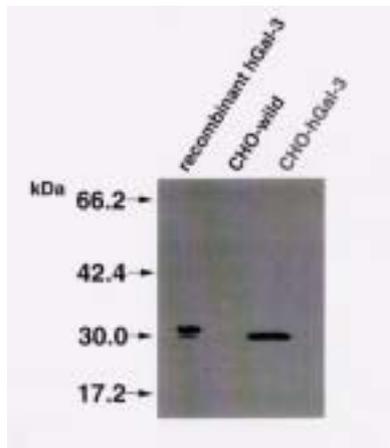


抗 ヒト Galectin-3 ポリクローナル抗体

Galectin とは、動物界に広く存在するガラクトース結合性レクチンの総称で分子量14～36kDaの基本的には膜貫通ドメインを持たない可溶性のタンパクです。現在まで報告されているガレクチンはその分子構築様式に基づいて、プロト、キメラ、直列反復型の三型に分類でき、Galectin-3はキメラ型に分類されマクロファージの表面抗原あるいはIgE結合タンパクとも呼ばれており、癌細胞や、ヒト白血病ウイルスに感染したT細胞で発現が増加することが確認されています。また、最近メイラード反応後期生成物(AGEs)をリガンドとして認識することが示されAGEs受容体としても注目されています。(Mol.Med.1:634-646,1995)

本抗体は、大腸菌で発現したヒト Galectin-3をウサギに免疫して得られた抗体で、ウェスタンブロットに使用できます。

容量	100μg(400μL/vial)
形状	ウサギポリクローナル抗体 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロッカー(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	- 20 以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されますと、失活する恐れがあります。 融解後は4 で保存し、お早めにご使用下さい。 また凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
製造方法	大腸菌で発現したヒト Galectin-3 をウサギに免疫し、得られた抗血清より、プロテイン G カラムにより精製。
使用濃度	ウェスタンブロットリング: 3μg/mL



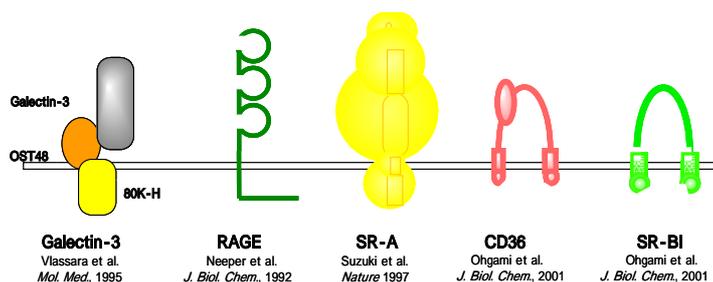
ウェスタンブロットリング

Sample: Cell lysates of
Galectin-3 CHO or mock
CHO cells (10 μg/lane)

提供: 熊本大学医学部生化学第二講座
堀内正公教授

抗 ヒト Galectin-3 ポリクローナル抗体

AGEs 受容体



【参考文献】

1. Zhu W, et al ;*Biochem Biophys Res Commun* 280:1183-1188,(2001)
2. Vlassara H, et al: *Mol Med* 1(6), 634-646(1995)
3. Sarafian V, et al:*Int.J.Cancer* 75,105-111(1998)
4. 平林 淳,笠井献一:*蛋白質 核酸 酵素* Vol.43 No.16,(1998)
5. Nangia-Makker P,et al: *AJP* March Vol.156.No3 (2000)

製造元

 株式会社トランスジェニック

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-306-0295 FAX:078-306-0296

URL:<http://www.transgenic.co.jp> techstaff@transgenic.co.jp